

**NOMURA**

# 2023年10月期 決算説明資料

のむら産業株式会社 証券コード 7131

# 目次

- I. 事業概要
- II. 2023年10月期 決算概要
- III. 中期経営計画概要、および2024年10月期 重点施策
- IV. 2024年10月期 業績予想
- V. 株主還元
- VI. Appendix
  - i. 会社概要・事業概要
  - ii. 強み・特長
  - iii. 中期経営計画（成長戦略）

# I. 事業概要

のむら産業グループは  
米穀包装資材・機械をワンストップで  
企画・販売する  
**米穀包装業界のトップランナー**



人々のライフスタイルの変化に対応し  
**「包む」**をキーワードに事業領域を拡大中



# 当社グループは BtoB を中心とした2つのセグメントで構成

## 包装関連事業

(%:売上構成比)

## 物流梱包事業

85%

### 包装機械

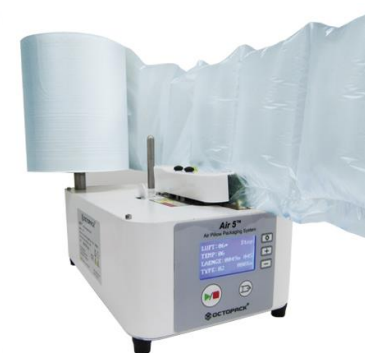
設計・製造、  
販売・アフターサービス

### 包装資材

デザイン・印刷・販売

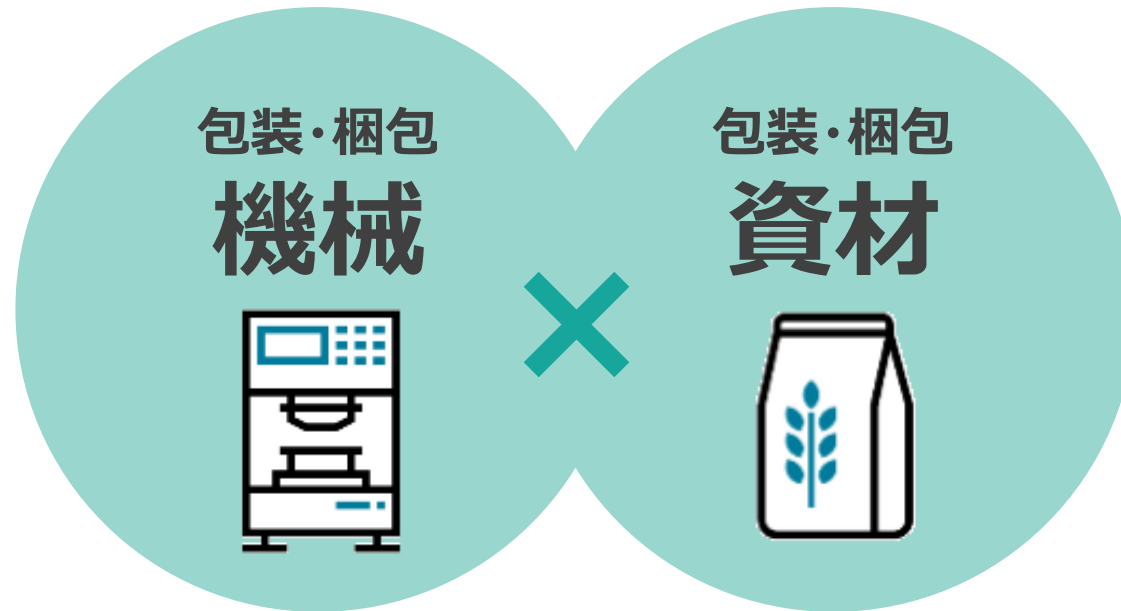
15%

販売・  
ソリューション



## 米穀包装資材・機械のパイオニア

米穀用包装資材と包装機械の両方を手掛けニッチ領域で事業を展開



経営資源

営業力・開発力

経営資源

企画力・デザイン力・ソリューション力

## II. 2023年10月期 決算概要

## 堅調な需要により大幅増収・増益

包装関連、物流梱包の2事業ともに、計画以上の売上達成  
増収効果に加え、コスト全般の見直しなどにより前期比19.3%増と二桁増益



### 主力の包装関連事業 **大幅増収増益を達成**

- 包装資材 新型コロナウイルス感染症が5類へと移行されたことなどの影響から、人流の回復に伴い、  
外食関連等の**業務用向け販売が堅調に推移**
- 包装機械 部品不足が解消され、受注、納品が堅調に推移

### 物流梱包事業 **大幅増収を達成**

脱プラスチックの風潮に沿った**環境配慮型商材の拡販**などにより、売上拡大

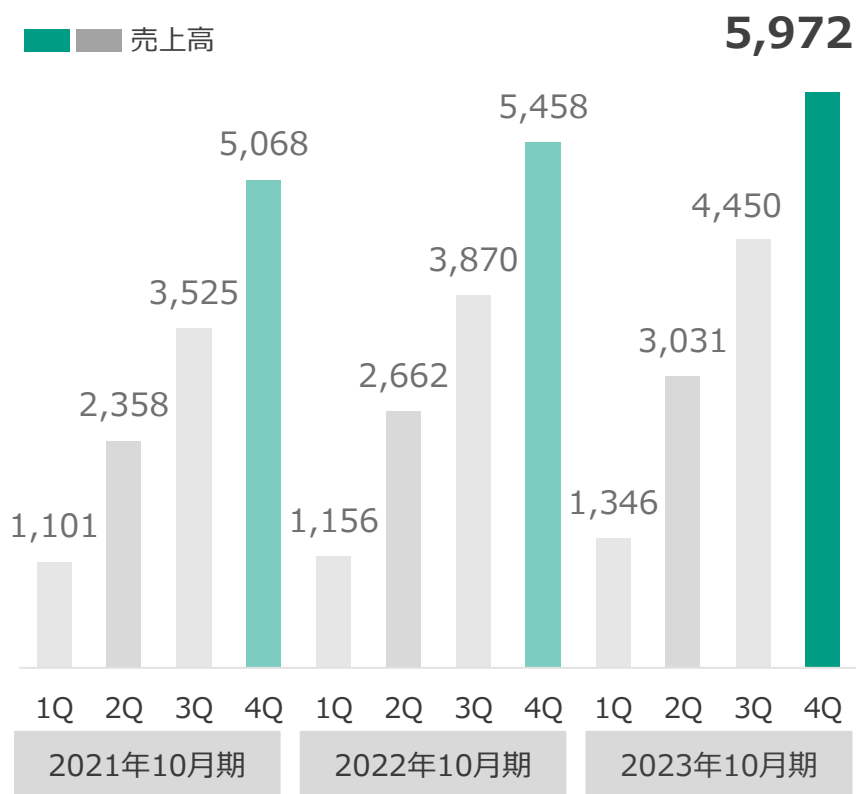


前期比+9.4%の増収に加え、コスト低減により収益が大きく拡大  
 期初の減益計画から一転し、営業利益は前期比+19.3%増の大幅増益に

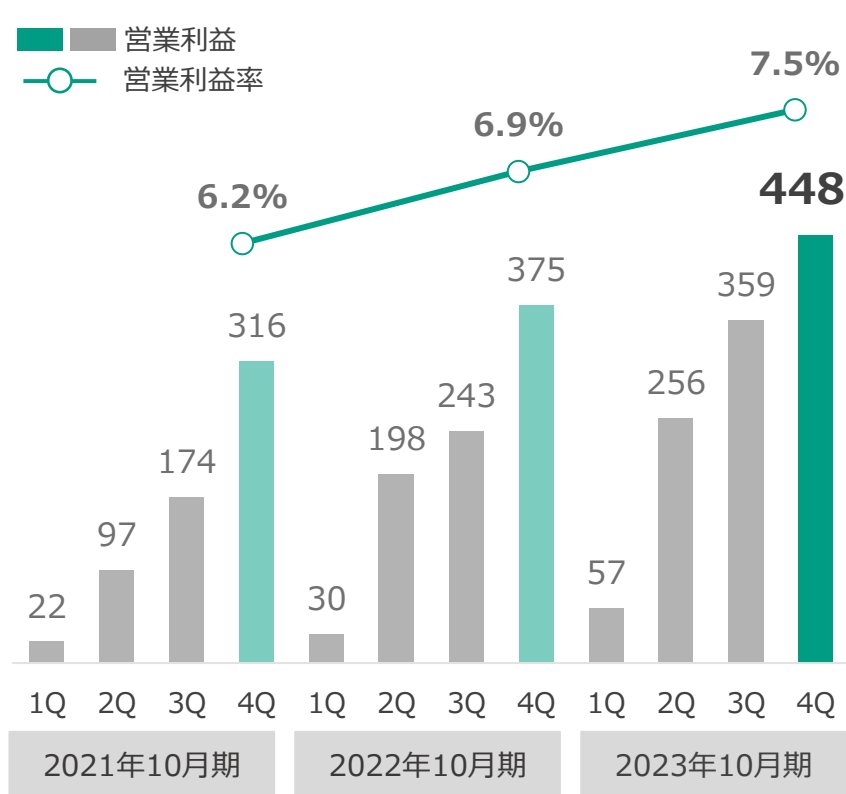
単位：百万円	22/10期決算		23/10期決算				前期比	
	実績	利益率	実績	利益率	2023/9/13開示 上方修正後 通期計画 (期初計画)	達成率	増減額	増減率
売上高	5,458	—	5,972	—	5,963 (5,881)	100.2%	+513	9.4%
売上総利益	1,388	25.4%	1,546	25.9%	-	-	+157	11.4%
営業利益	375	6.9%	448	7.5%	409 (319)	109.6%	+72	19.3%
経常利益	370	6.8%	446	7.5%	407 (318)	109.8%	+76	20.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	239	4.4%	290	4.9%	259 (199)	112.1%	+50	21.0%

## 営業利益率も年々上昇

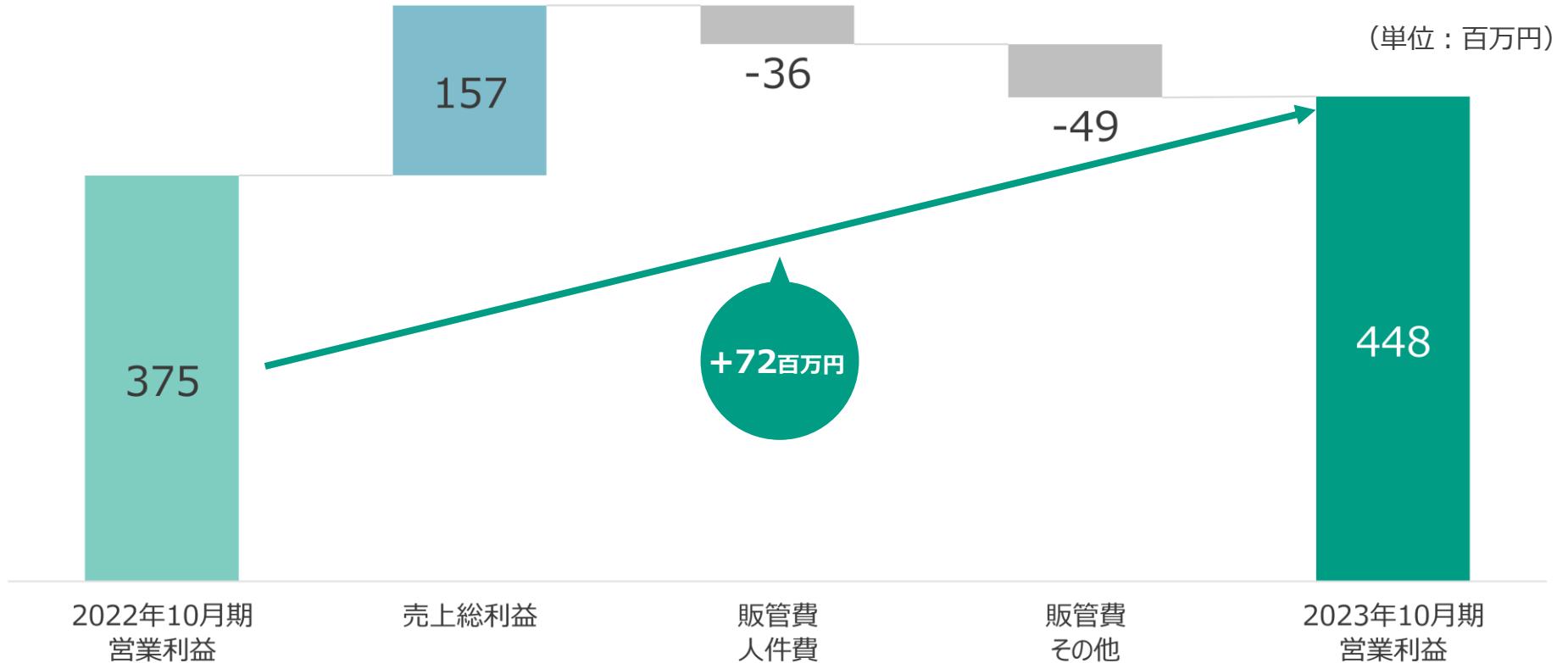
売上高（百万円）



営業利益（百万円）



増収効果や様々なコストダウンにより、売上総利益が増加したことで、  
 営業利益は前年同期比で72百万円の増益



**包装関連、物流梱包事業ともに前期比で増収。包装関連の増益に加え、物流梱包も営業強化の人員費増加があるものの堅調に利益を獲得**

(単位：百万円)		22/10期 決算	23/10期 決算	前期比	
		実績	実績	増減額	増減率
売上高	包装関連事業	4,651	5,080	+428	+9.2%
	物流梱包事業	807	892	+85	+10.6%
	合計	5,458	5,972	+513	+9.4%
営業利益	包装関連事業	352	432	+79	+22.6%
	物流梱包事業	22	15	▲7	▲32.4%
	合計	375	448	+72	+19.3%

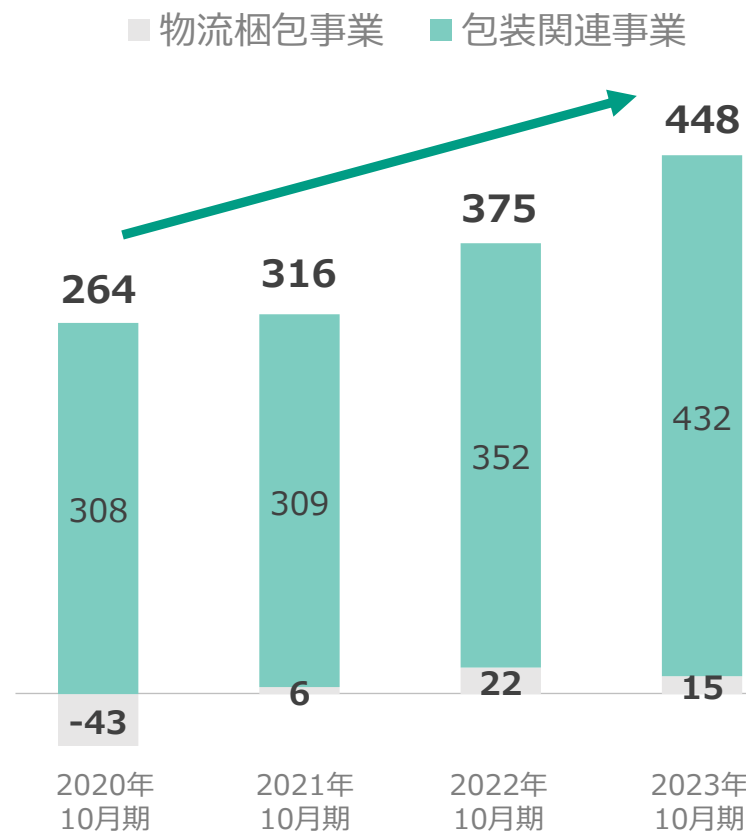
※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。

## 資材価格高騰の影響を受けつつも、着実に業績を拡大

### 売上高 (百万円)



### 営業利益 (百万円)



(単位：百万円)	22/10期	23/10期	増減額	主な増減要因
総資産	3,633	3,775	+141	主に現預金212百万円、仕掛品63百万円の増加 売上債権173百万円の減少
負債	2,241	2,130	▲110	長期借入金124百万円の減少
純資産	1,392	1,644	+252	主に親会社株式に帰属する当期純利益の計上

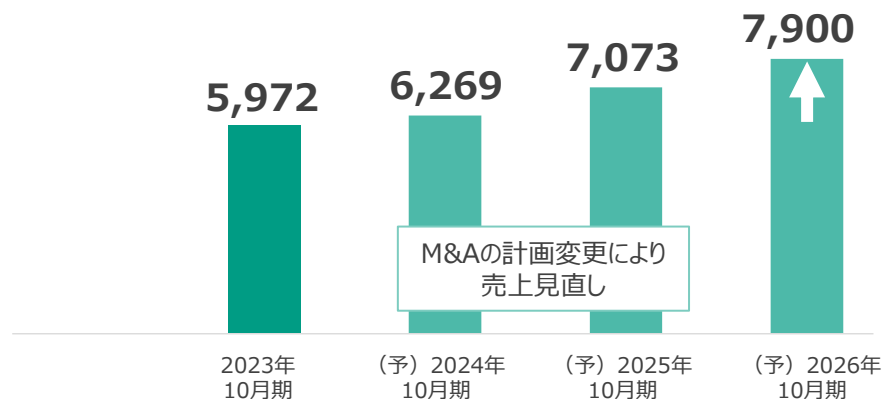
(単位：百万円)	22/10期	23/10期	増減額	主な増減要因
営業CF	454	450	▲4	税金等調整前当期純利益 446 売上債権の減少 173 棚卸資産の増加 ▲93
投資CF	▲2	▲42	▲39	固定資産の取得 ▲42
財務CF	▲271	▲196	+75	長期借入金の返済 ▲128 配当金の支払 ▲55
現金及び現金同等物の 期末残高	1,043	1,255	+212	

### III. 中期経営計画概要 および 2024年10月期 重点施策

米穀包装業界を牽引するとともに、新領域へ進出し、  
**今後3年間で売上高79億円、営業利益5.2億円超を目指す**

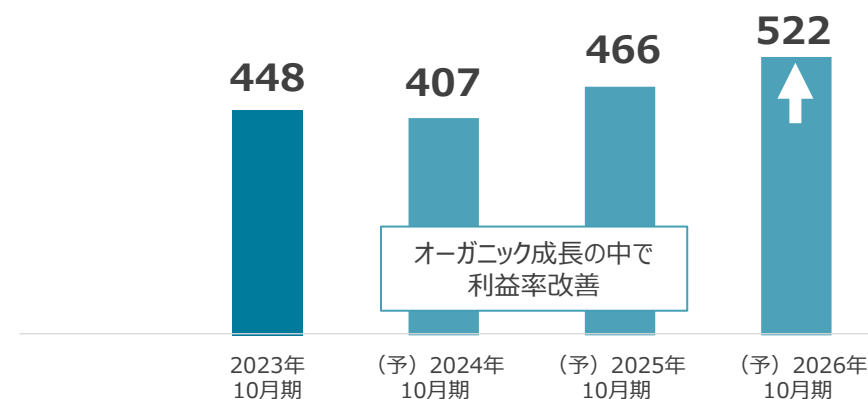
**売上高** (百万円)

2023年10月期比 **約1.3倍の79.0億円**

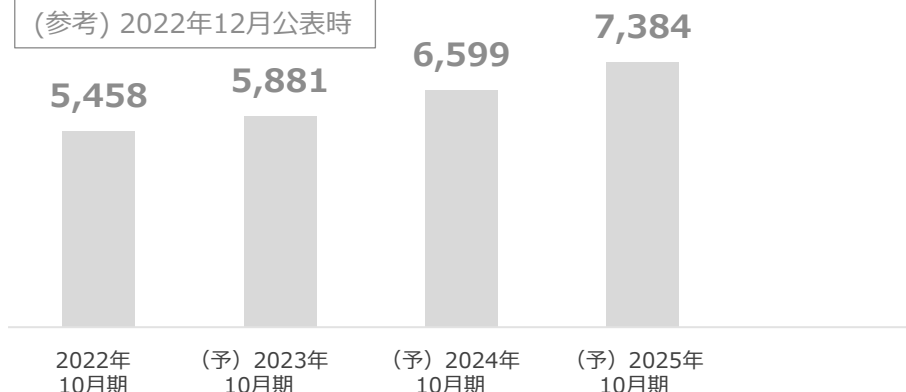


**営業利益** (百万円)

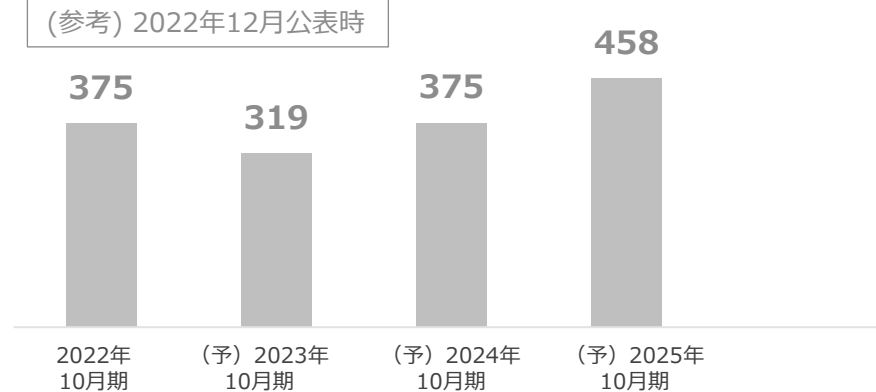
2023年10月期比 **約1.2倍の5.2億円**



(参考) 2022年12月公表時

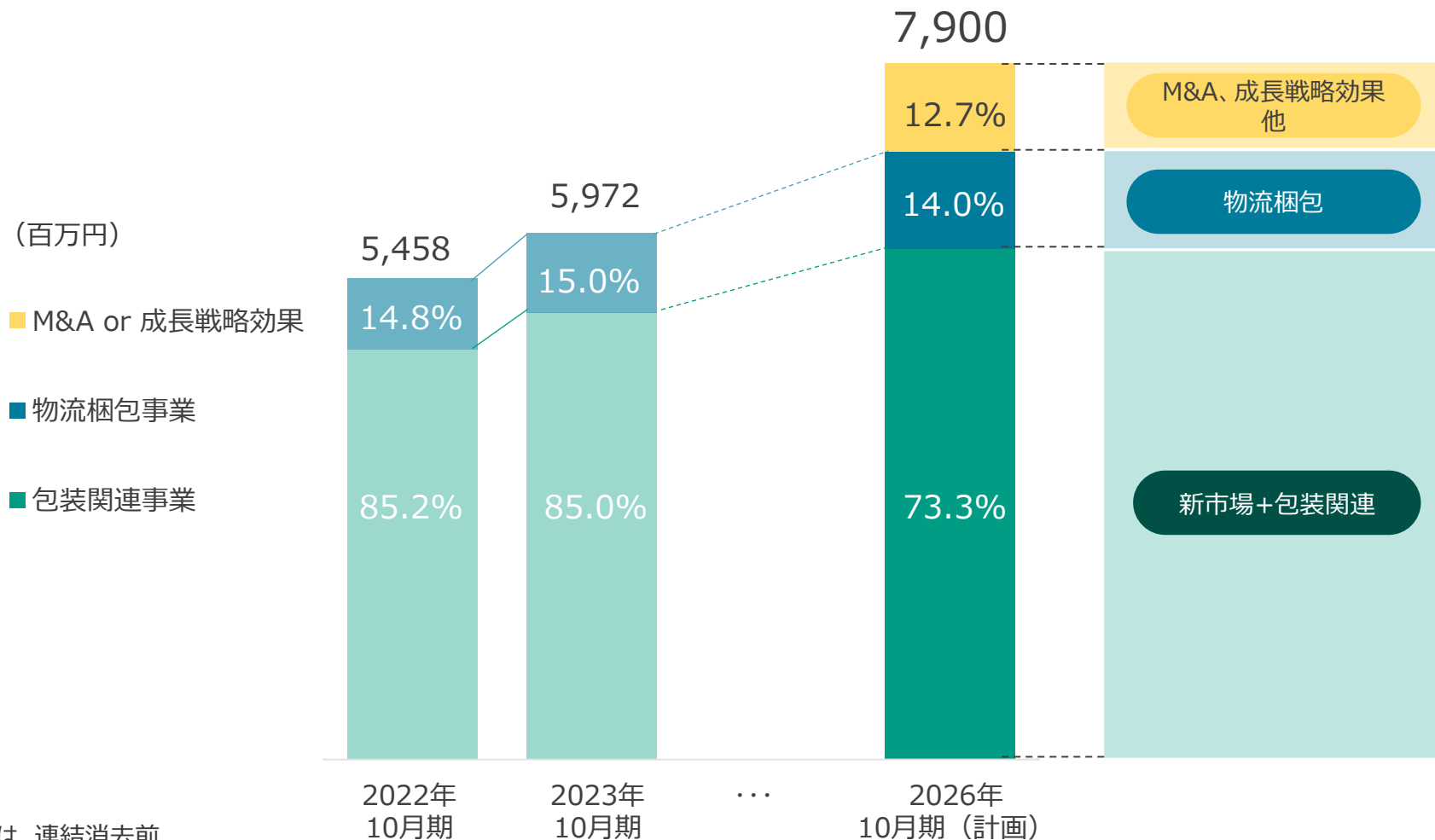


(参考) 2022年12月公表時





## 包装関連事業、梱包物流事業の着実な成長、 強みを生かした成長戦略による基盤を構築



※数値は、連結消去前

## 3つの拡大ポイントにおける重点施策を推進し、事業を拡大



- M&Aや業務提携を積極的に展開
- バランスの取れた資本政策を推進

- 米穀市場以外の新市場への販売を促進
- IT技術を活かし、新たなビジネスモデルに挑戦
- デザイン・企画・開発部門の強化
- 資材・設備・サービスなどの取り扱い商材の拡充・開発

- 米穀用自動計量包装機国内トップとしてシェア拡大
- 商品・サービスの開発力・提案力の強化と品質維持向上
- 海外向け売上の拡大
- 西日本市場売上、利益の拡大
- サステナブルな社会の実現に寄与し、事業規模の拡大

## 中長期的な企業価値向上に向けて M&A戦略も積極的に推進

M&A対象

ねらい

成長性



当社の事業活動に必要な経営資源を  
有する企業

相乗効果



当社の有している経営資源を活かせる企業

利益率



当社グループの利益率に貢献する企業

## 2024年10月期 重点施策

### ■ 包装関連事業（包材）

売上計画  
3,377百万円

#### 1 既存顧客の深耕

- ①ターゲット顧客に対する拡販
- ②環境対応などの付加価値資材の拡販

#### 2 収益基盤の構築と顧客満足度の向上

- ①新商品、新規仕入先拡充に伴う原価改善
- ②安定供給のための新規仕入先追加
- ③製品品質の向上

#### 3 西日本市場拡販と海外向け売上の拡大

### ■ 包装関連事業（機械）

売上計画  
1,680百万円

#### 1 改良・マイナーチェンジ製品の販促

- ①機械設備の更新促進
- ②鮮度保持関連機器の拡販、および計量包装機周辺機器の取扱いの拡充

#### 2 製造原価改善および仕入強化による売上原価改善

## 2024年10月期 重点施策

### ■ 物流梱包事業

売上計画  
982百万円

**1** 新商材を活用した紙緩衝材の  
販売競争力強化

**2** リサイクル商材などの  
環境配慮型商材の拡販

**3** 高品質商材の拡販

#### 紙素材を通じて「脱プラスチック」を推進

1層クラフト紙から  
3次元クッションを  
製造



重ね貼りや  
リサイクル可能  
なガムテープ



### ■ 新市場

売上計画  
230百万円

**1** 米穀市場以外への販売促進

- ①工場などの生産現場における  
省力化推進による、機械と資材の拡販
- ②米穀市場以外へのチューブロール資材  
の拡販
- ③展示会の積極出展、Webサイトの強化  
により新たなニーズと引き合いの獲得



## IV. 2024年10月期 業績予想

## オーガニックな成長と重点施策実行により増収を見込むが、 中長期的な成長のための投資を行うため減益を予想

(単位：百万円)	23/10期 (実績)	利益率	24/10期 (予想)	利益率	前期比	
					増減額	増減率
売上高	5,972	—	6,269	—	+296	+5.0%
売上総利益	1,546	25.9%	1,581	25.2%	+35	+2.2%
営業利益	448	7.5%	407	6.5%	▲40	▲9.0%
経常利益	446	7.5%	394	6.3%	▲51	▲11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	290	4.9%	246	3.9%	▲44	▲15.2%
1株当たり当期純利益 (EPS.単位:円)	219.55	—	186.13	—	▲33.42	▲15.2%

(単位：百万円)		23/10期	24/10期	前期比		概要
		実績	見通し	増減額	増減率	
売上高	包装関連事業	5,080	5,287	+206	+4.1%	
	物流梱包事業	892	982	+89	+10.0%	
	合計	5,972	6,269	296	+5.0%	
営業利益	包装関連事業	432	387	▲45	▲10.4%	中長期的な成長に向けた先行投資により前期比減益なる見込み
	物流梱包事業	15	20	4	+30.7%	円安の影響は一定程度見込むものの、売上増加により前期比増益となる見込み
	合計	448	407	▲40	▲9.0%	

※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。



## V. 株主還元

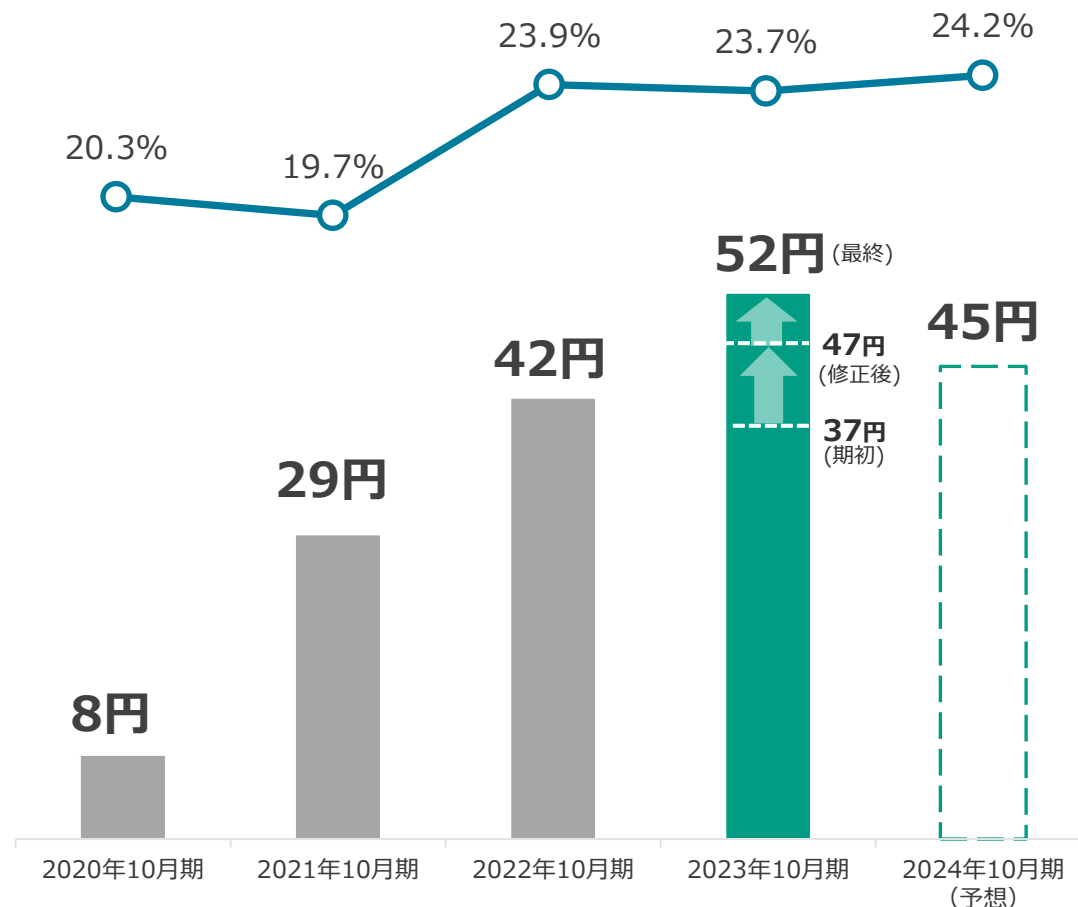
## 23/10期は、増額修正後からさらに**配当額を5円増額** 前期比減配予想から**前期比10円増配**へ

### 基本方針

事業拡大に必要な内部留保との  
バランスを図りながら安定的かつ  
継続的な配当を実施

### 連結配当性向目標

期末配当金 **25%程度**



※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割後の配当額を記載しております。

## VI. Appendix

### i. 会社概要・事業概要

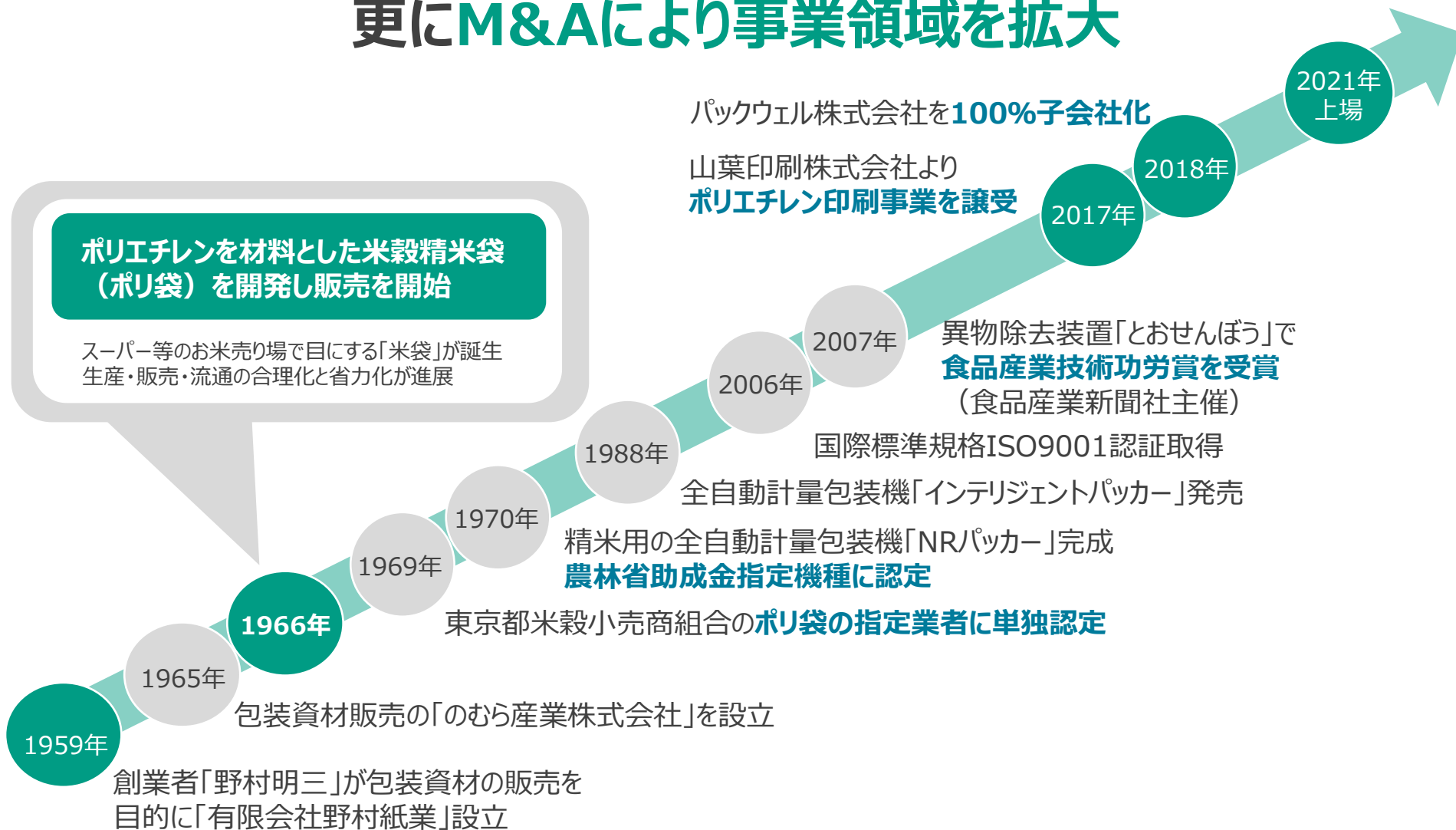
会社名	のむら産業株式会社
設立	1965年（昭和40年）11月
会社所在地	東京都東久留米市前沢5丁目32番23号
代表者	代表取締役社長 清川 悦男
資本金	80,000,000円
決算期	10月
発行済株式数	1,391,575株（自社株含む）
従業員数	109名（平均臨時雇用人員含む） ※23/10/31時点（連結）
連結子会社	パックウェル株式会社 山葉印刷株式会社 BJT JAPAN合同会社
監査法人	EY新日本有限責任監査法人
事業内容	<p>&lt;包装資材部門&gt; 米穀精米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売</p> <p>&lt;包装機械部門&gt; 米穀用自動計量包装機を中心として計量包装機械の企画開発及び製造販売</p>

## 経営理念

人に優しい新技術をモットーに、常に使う人の身になっての商品づくりに努め、お取引先の皆様とのビジネスを通じて社会に貢献していきます。



# 設立半世紀を超えた米穀包装資材・機械のパイオニア 更にM&Aにより事業領域を拡大



## 当社グループは BtoB を中心とした2つのセグメントで構成

### 包装関連事業

(%:売上構成比)

### 物流梱包事業

85%

#### 包装機械

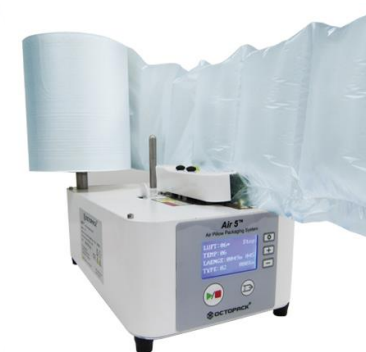
設計・製造、  
販売・アフターサービス

#### 包装資材

デザイン・印刷・販売

15%

販売・  
ソリューション



## 米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売



### 調査／マーケティング

市場調査・データ分析による  
時事に合ったトレンドを発掘



### 設計&デザイン

要望に合ったベストなプラン  
& デザインをご提供



### 販売／納品

様々なパッケージや  
ラベルの製品

- ✓ オリジナル米袋
- ✓ チャック付サイドガゼットロール  
GZR
- ✓ 環境配慮型米袋

# 米穀用自動計量包装機を中心として計量包装機械の企画開発及び製造販売

	パーセル NMP-15H	インテリジェントパッカー ネオス DSR-110	スーパーインテリジェント パッカー SIP-110	ネクサス NX-180R
製品				
最大の特長	<b>計量機と包装機が一体化</b>			
性能	±2gの計量精度と 11回/分（5kg計量時）の能力	1基の計量機で 10袋/分（5kg時）の包装能力	計量機2連搭載	3基の計量機で高速化を実現
操作性	ワンタッチの秤量変更と計量回数 のプリセット機能搭載	サイドグリップ方式で 確実に袋を保持	各機構部をユニット化し清掃・調整・メンテナンスが容易	
その他	小スペースで設置可能な コンパクトサイズ	省エネ性能で、エアー消費量、 電力消費量を削減	バーコードの読み込むだけでフィルムサイズ、計量値、 シール設定、印字位置等を自動型替え可能	



## 顧客ニーズに適した様々な包装機械・オプションなども企画・開発

異物除去機			集積包装機	
糠玉取機（とおせんぼう）			フレキシブルミニサッカー MS-5000H1・H2	フレキシブルオートサッカー FAS-2010BP
給袋式自動計量包装機			チューブロール袋用包装機	
NRP-6	ジャスティーン NKC-01A	ジャスティーン NKR-01A	PLN-400	

# 物流におけるパッケージ現場の問題解決策の提案や海外の優れた製品・資材を輸入・販売

## 包む

大切なモノを優しく包む

- エアー包装材システム
- 紙緩衝材システム
- 発泡緩衝材システム

## 埋める

大切なモノの隙間を埋める

- エアー緩衝材システム
- 紙緩衝材システム
- 発泡緩衝材システム

## 封をする

大切なモノを運ぶため封をする

- 封かん・製函機
- ガムテープ繰出し機
- その他オプション

### ワレモノ専用 包装材



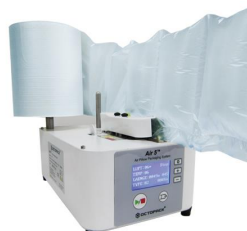
ワインボトルや薬品ボトル等、守りたい商品の形状にフィット

### エアー包装材 システム



フィルムに空気（エアー）を注入して袋状の緩衝材を高速で製造するシステム

### エアー緩衝材 システム



簡単操作でフィルムを縦置きにすることで最小のスペースを実現（環境にも優しいバイオフィルム）

### 紙緩衝材システム



脱プラの風潮に適した緩衝性能の高い紙パッドタイプの緩衝材システム

### 封かん・製函機



段ボールケースの上下面をテープ貼りする自動封かん機

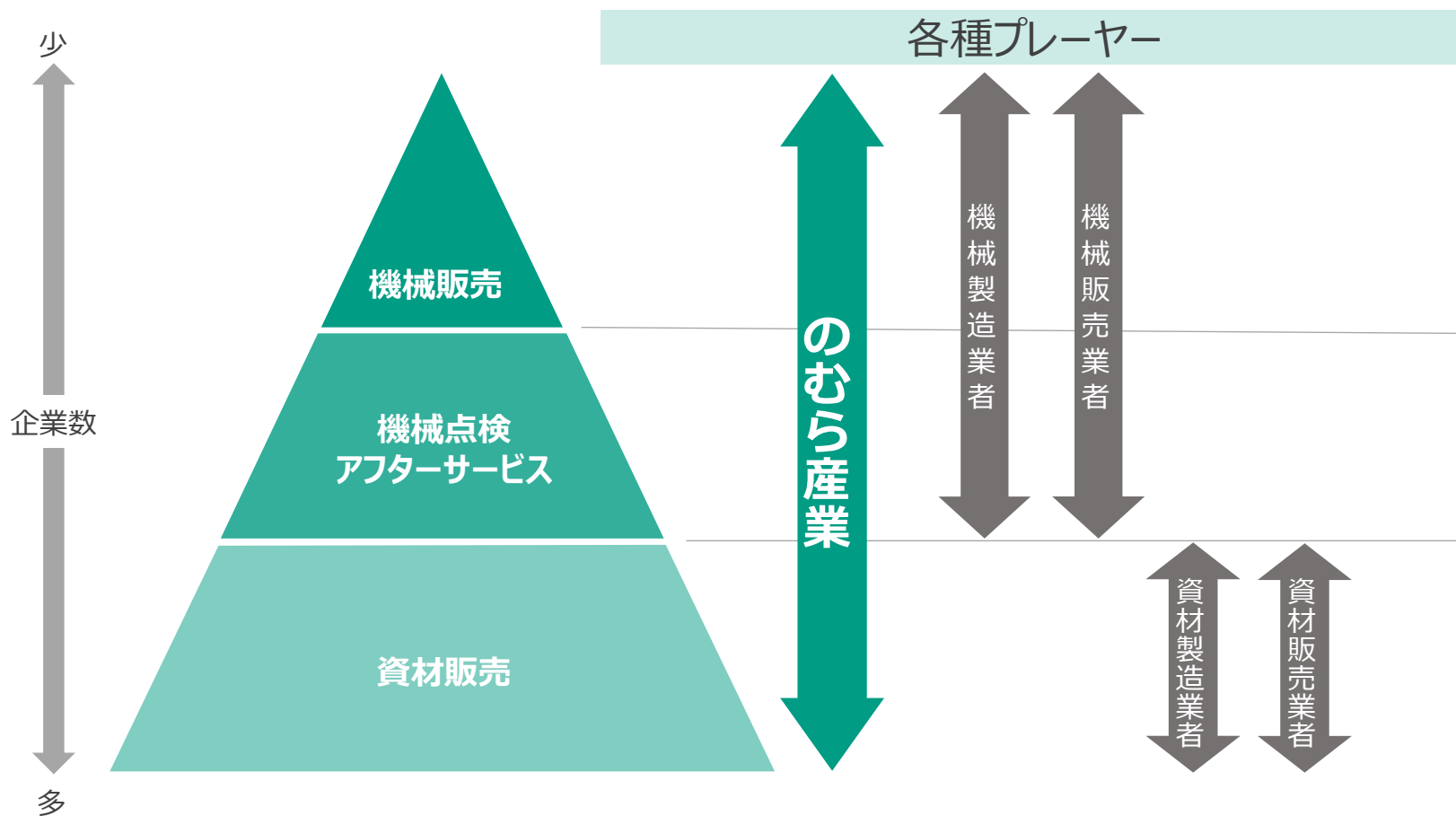


マニュアル梱包の現場におけるガムテープ封かん作業効率システム

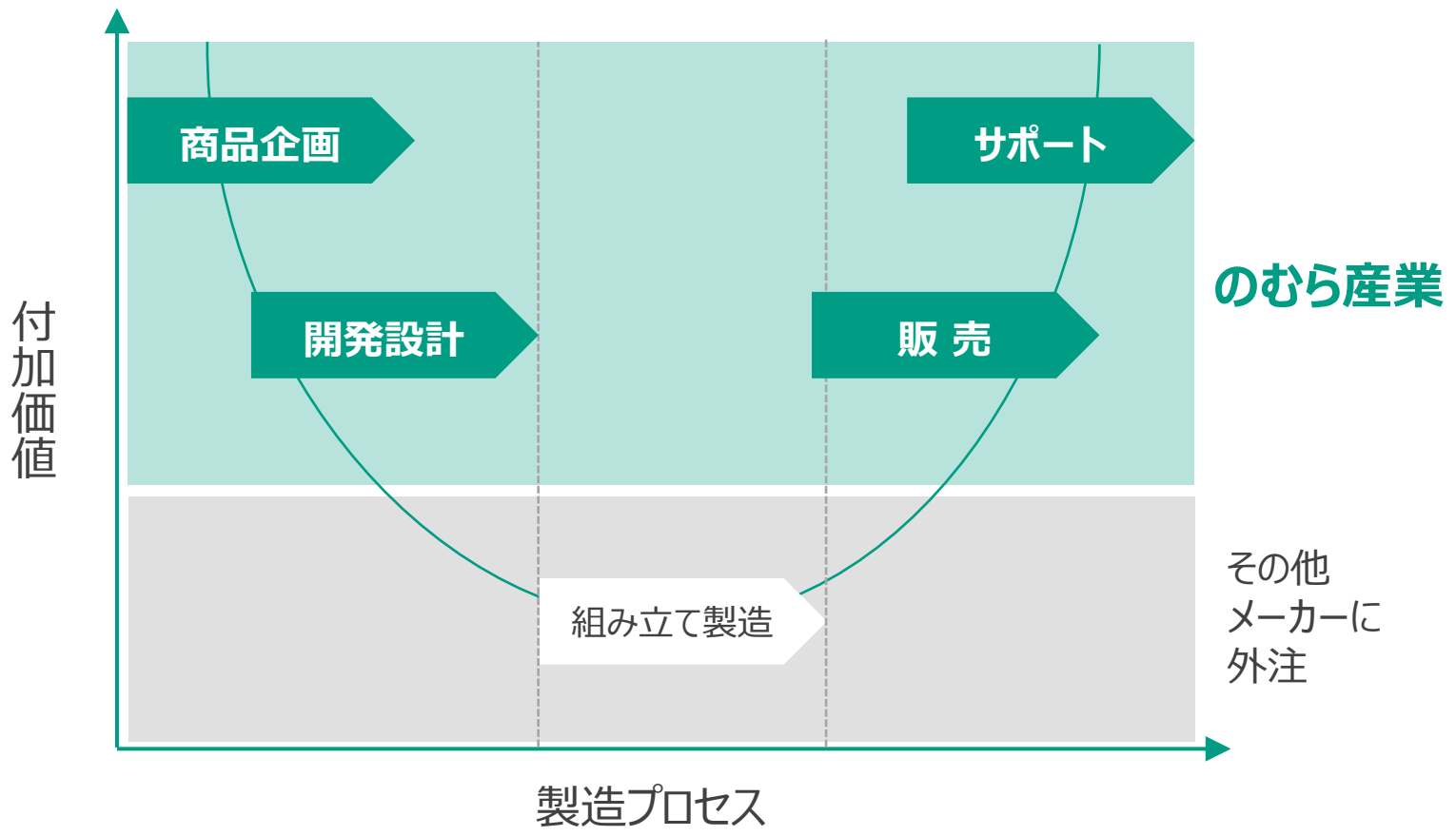
# VI. Appendix

## ii. 強み・特長

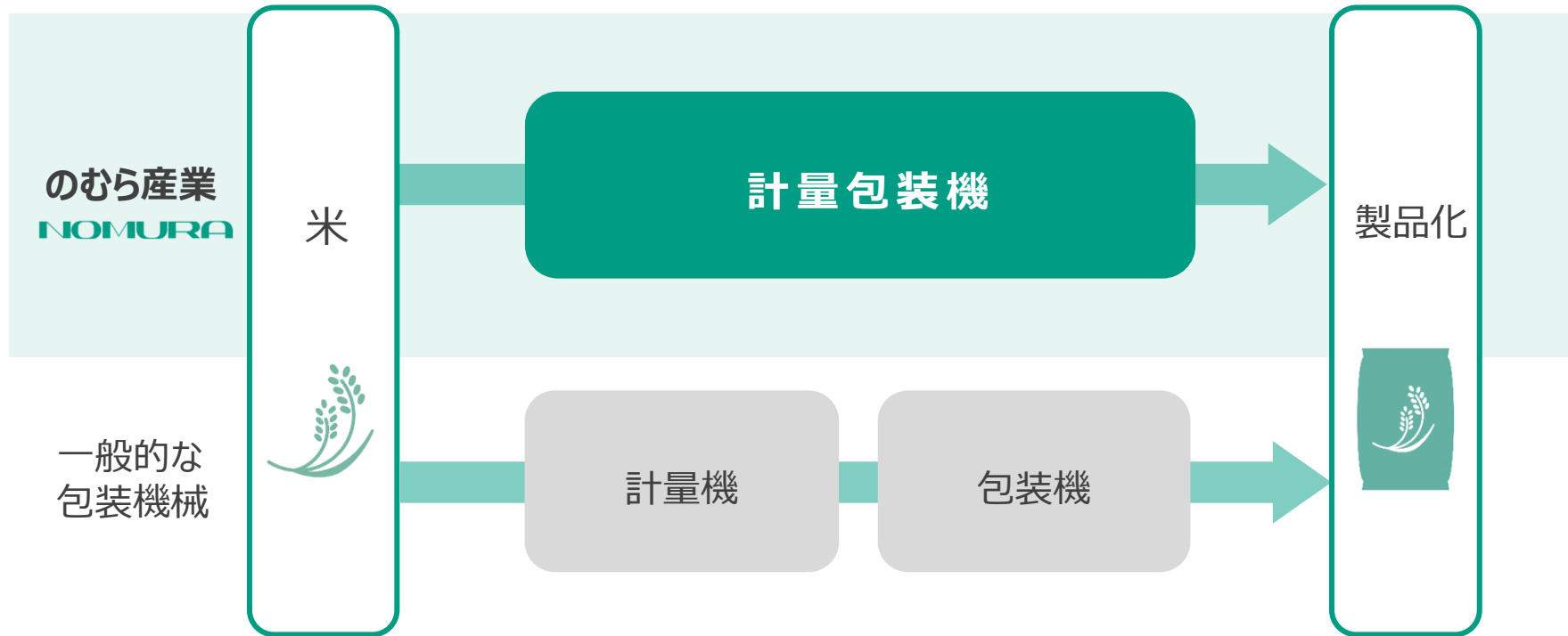
# 機械販売から資材販売の川上から川下まで 当社はこれらの事業をワンストップで対応し、ポジショニングを確立



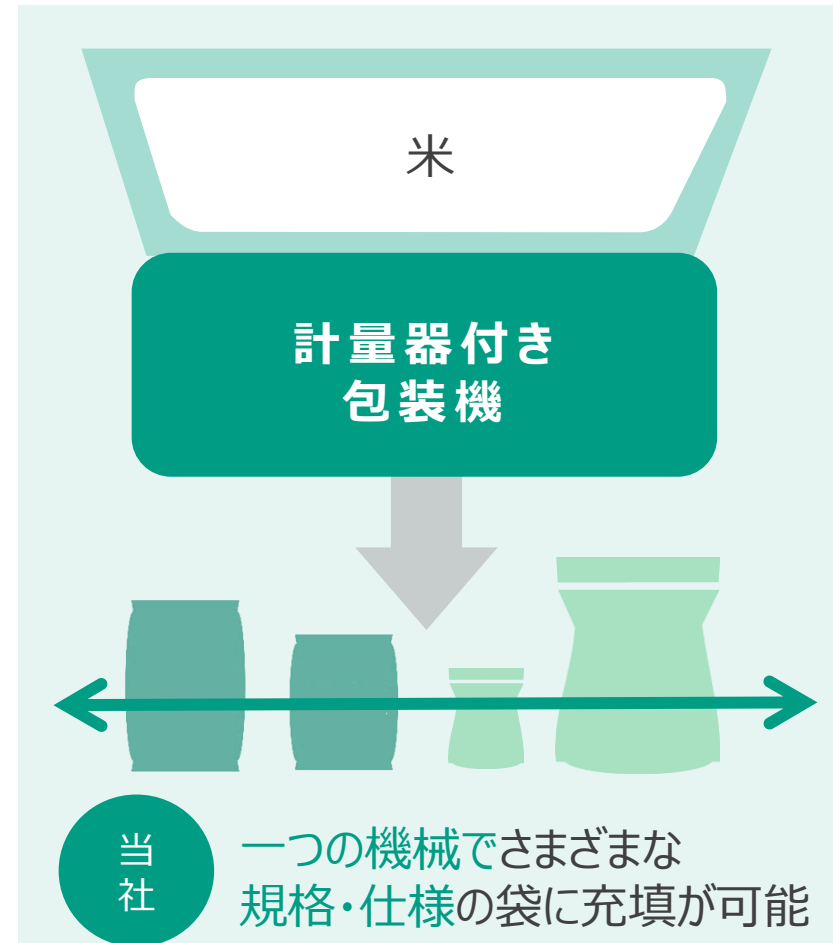
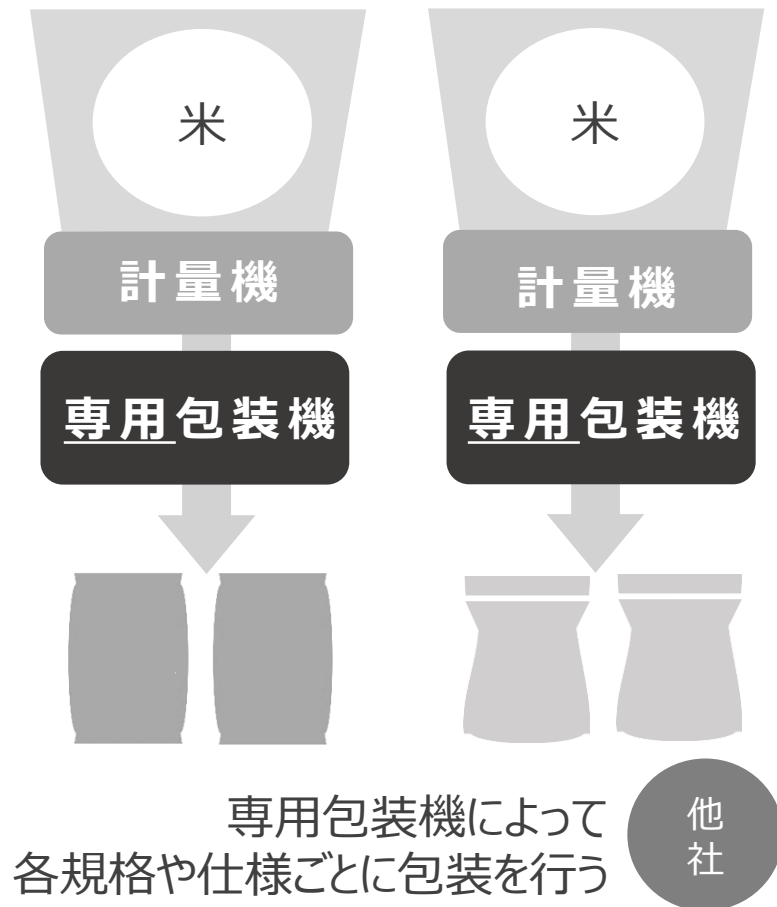
# 顧客のニーズを捉え開発・設計の上流工程に経営リソースを集中し、 付加価値の高い経営基盤を構築



計量機と包装機を一体化。ワンストップでの保守・メンテナンスが可能。  
機械を制御する部分の統一で、設置が容易なため、  
省スペース化やコストダウンが図れる



当社の計量機付き包装機では、一つの機械でさまざまな規格・仕様の商品の包装が可能  
規格と仕様ごとに個別に機械を揃える必要がないため、取引先の投資効率化が図られる



# 設立以来積み上げてきた米穀業界を中心とした約2,700社の顧客基盤



大手精米卸販売会社



米穀製品専門の商社



農業協同組合

## 流通関連



量販店



小売・スーパー



コンビニ



デパート

……など

## 外食関連

### 大手外食チェーン



牛丼



とんかつ



寿司



カレー



ファミリーレストラン

## EC関連

大手外資系通販会社

OA機器専門商社

運輸系印刷会社

工具系通販会社

……など

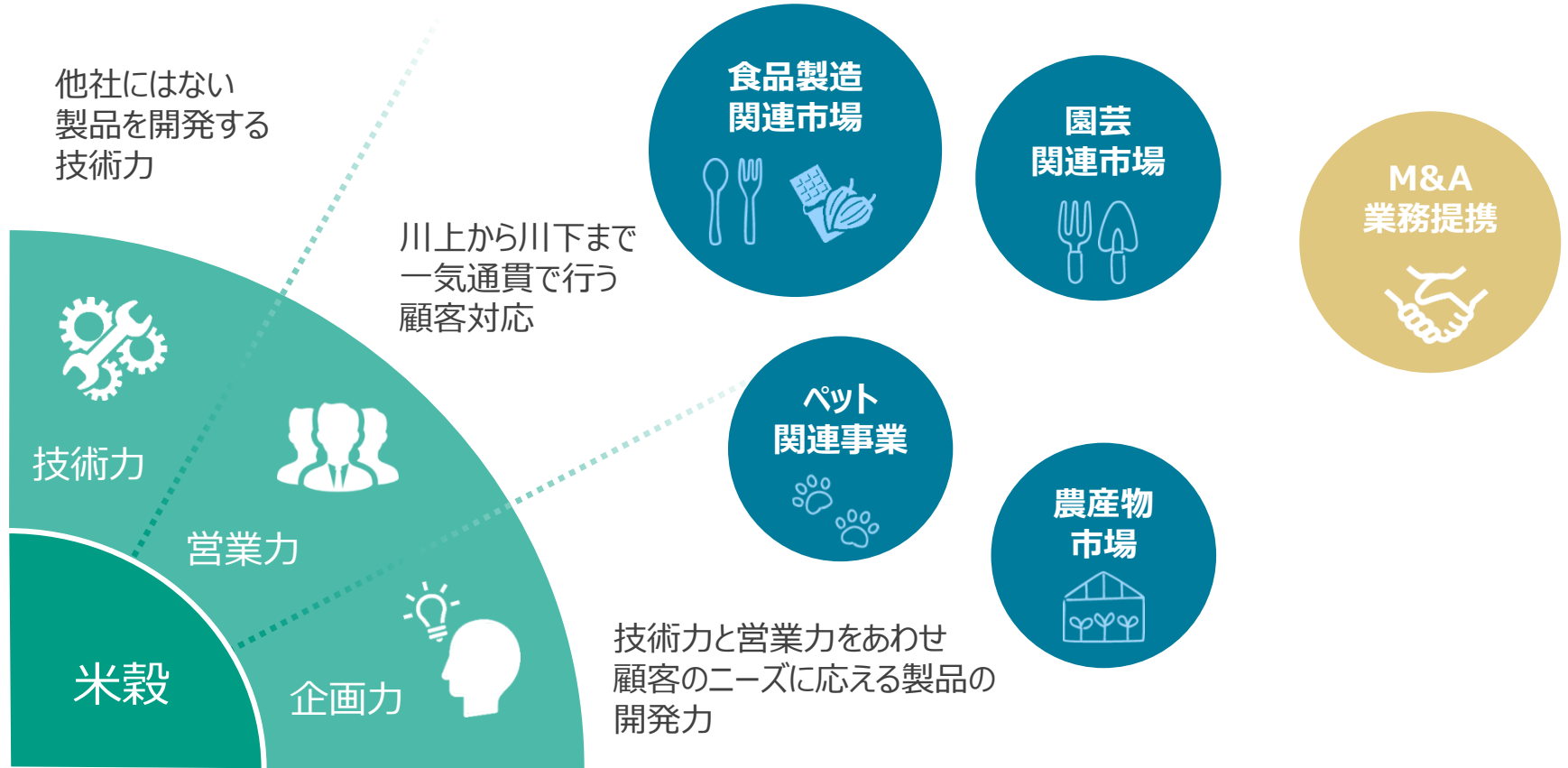




## VI. Appendix

### iii. 中期経営計画（成長戦略）

# 既存領域の深耕と新領域の開拓で中長期安定成長を目指す



## 3つの拡大ポイントにおける重点施策を推進し、事業を拡大



- M&Aや業務提携を積極的に展開
- バランスの取れた資本政策を推進

- 米穀市場以外の新市場への販売を促進
- IT技術を活かし、新たなビジネスモデルに挑戦
- デザイン・企画・開発部門の強化
- 資材・設備・サービスなどの取り扱い商材の拡充・開発

- 米穀用自動計量包装機国内トップとしてシェア拡大
- 商品・サービスの開発力・提案力の強化と品質維持向上
- 海外向け売上の拡大
- 西日本市場売上、利益の拡大
- サステナブルな社会の実現に寄与し、事業規模の拡大

## 営業エリアが東日本に集中しているため、シナジー効果の高い企業との業務提携やM&Aを視野に西日本エリアの商圈拡大を推し進める

### 西日本エリア 商圈拡大

西日本エリアでの  
シナジー効果の高い企業との業務提携

当社及び業務提携先の製商品を  
西日本で販売シェアを拡大

### 東日本エリア 既存エリアのシェア拡大

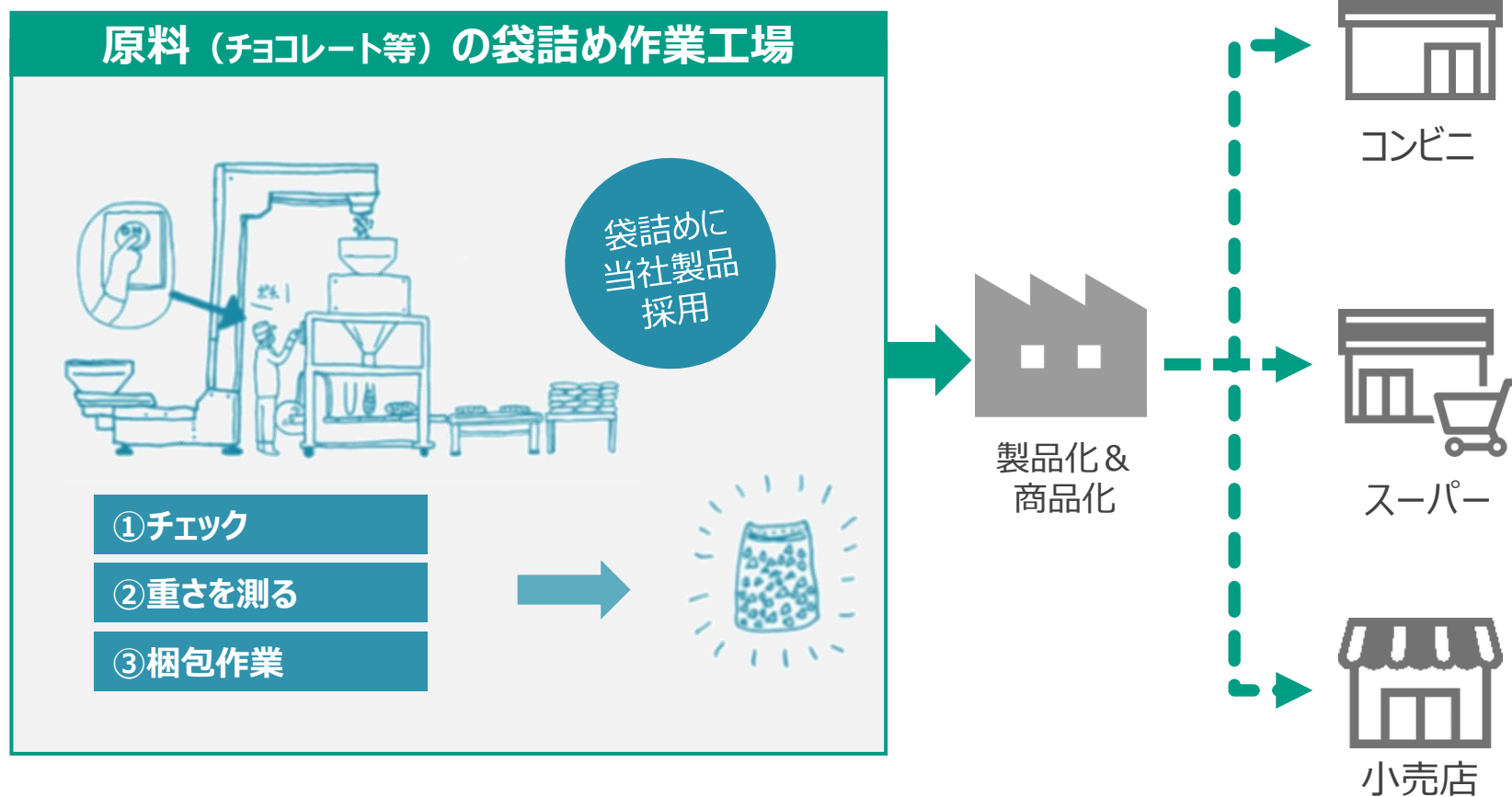
東日本エリアの  
包装関連市場の市場規模の  
うち当社シェアは3割強※

機械×包装の一体化のアド  
バンテージを活かし、営業力  
強化でシェア拡大を目指す

※当社推定値

# 粒状物包装を長年手掛けてきたノウハウを米穀以外の新市場に横展開 チョコレート等の原料を工場間輸送するため大手食品工場が当社製品を採用

業務効率化、省力化に寄与



## 環境へ配慮した製品の開発を積極的に行っています

### バイオマス素材を30%使用した米袋

バイオマス素材とは生物由来の持続的に生産可能な有機性資源のことであり、**燃烧した際に大気中のCO2を増加させず、温室効果ガスの削減につながります。**

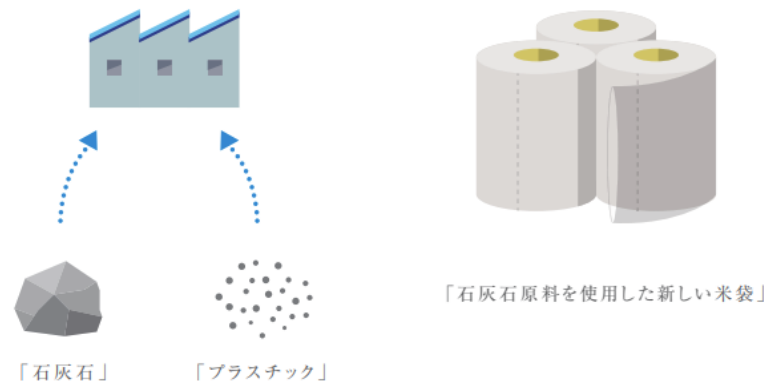


★JAグループでは環境に配慮した新たな取り組みとして温室効果ガス削減につながる当社米袋を導入していただいております。

### プラスチック削減製品

## PLASTONE

プラスチックに炭酸カルシウムなど無機物を約30%配合し作られた、紙でもバイオでもない、**石灰石原料を使用した新しい米袋を開発。**



## お客様のニーズをとらえた様々な商品を開発

機能性に優れた商材は、高単価で新規のお客様にも訴求効果が高い



**業界初!**  
チャック付サイドガゼットロール

- さまざまな規格（サイズ・材質）の袋の型替えが簡単
- サイドガゼットにより自立が可能
- 再封が可能で衛生的に保存



**オリジナル米袋**

設計からデザイン、製造まで  
トータルプロデュース

## 成長するEC市場を背景に売上拡大を目指す

海外の優れた  
物流梱包機械・資材の発掘

梱包出荷ニーズに  
ワンストップで対応

充実したアフターケア

### ソリューションサービスの推進

販売後も顧客と接点を持つことで、顧客の様々なニーズ  
(省スペース化、作業効率を上げたいなど) に対応

梱包荷造り機械・資材の拡販

EC  
関連会社

紙素材を通じて「脱プラスチック」を推進

#### 紙緩衝材自動製造機



1層クラフト紙から  
3次元クッションを製造



#### ガムテープ繰出し機



重ね貼りやリサイクル  
可能なガムテープ



#### 自動ガムテープ繰出し機



- 本資料は、のむら産業(株)の業績動向及び事業内容について、のむら産業(株)による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。
- これらの将来の展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。様々な要因により、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- のむら産業(株)の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来の展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料開示時点において利用可能な情報に基づいてのむら産業(株)によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

TEL : 042-497-6191

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/>

Mail : [ir@nomurasangyo.co.jp](mailto:ir@nomurasangyo.co.jp)